

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401010100		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	障害者地域生活支援事業	予算事業名	障害者地域生活支援事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名		健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長		利根 克典	
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する		実施計画への記載		無	
実施計画事業名		地域活動支援センター運営事業補助金		担当者名		北條 麻梨香	
主要事業の指定		無		主要事業の指定		無	
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、地域生活支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児					
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効率的・効果的に実施し、障害者等がその有する能力及び適性に応じ、安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができる社会の実					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国の地域生活支援事業実施要綱に規定する市町村地域生活支援事業として、必須事業(相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業)及びその他の事業を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	相談支援事業	人	214	183	246	250	
	日常生活用具給付等事業	人	77	58	56	60	
	移動支援事業	人	23	31	28	30	
	その他事業	人	3,516	2,738	3,844	3,894	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.192	1.356	114	2.108	155	1.360	65	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	9,726,224	10,780,680	111	16,521,526	153	11,246,349	68	
	事業費	36,254,074	35,721,487	99	34,885,225	98	42,152,000	121	
	合計	45,980,298	46,502,167	101	51,406,751	111	53,398,349	104	
財源内訳	国庫支出金	14,030,000	16,247,000	116	14,311,000	88	12,979,000	91	
	県支出金	9,659,000	9,628,000	100	6,905,000	72	6,308,000	91	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,291,298	20,627,167	93	30,190,751	146	34,111,349	113	
	合計	45,980,298	46,502,167	101	51,406,751	111	53,398,349	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域生活支援事業利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,792	2,800	100.3	3,323	118.7	4,234	127.4	
	実績	3,830	3,010	78.6	4,174	138.7			
指標名2		地域生活支援事業利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14,076	14,568	103.5	12,133	83.3	9,955	82.0	
	実績	10,311	11,867	115.1	8,357	70.4			

【効率性】

指標名1		地域生活支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		2,977	-	6,067	203.8	2,656	43.8	
	実績	2,766	3,581	129.5	3,958	110.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	負担割合の適正化	対象となる事業が多く、全体のコストから見て、市の負担割合が多くを占めている。	4
	手段の最適性	それぞれの事業について、実施時期や開催場所、開催回数など、概ね適正に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

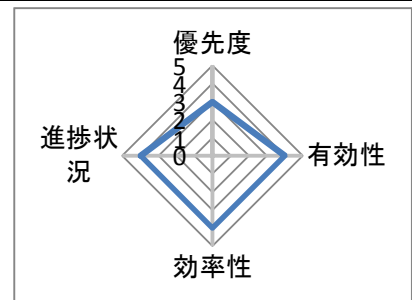
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	地域生活支援事業の趣旨及び目的に鑑み、各事業の内容・事業効率等の検証を行い、事業の見直しや新規事業について検討を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の事業内容、事業効果を検証し、事業の充実に向けた検討を行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401010200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	成年後見制度利用支援事業	予算事業名	成年後見制度利用支援事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名 山本 由香里
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		知的障害者福祉法第28条、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第51条の11の2、相生市成年後見制度における市長による審判の請求に関する要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉サービスを利用する知的・精神障害者のうち、後見開始の審判等の申立てを市町村が行う必要がある者で、配偶者及び四親等以内の親族がいない、申立てに要する経費を助成			
	誰(何)を対象として	後見開始の審判等の申立てに要する経費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	判断能力が不十分な者に対して、適切な後見人を見つけ、本人の財産管理や身上監護を適切に行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所又は居所を有し、法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある者のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、本人の福祉の向上を図るために市長が審判の請求を家庭裁判所に行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	市長申立て件数	件	1	0	1	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.065	0.056	86	0.052	93	0.072	138	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	828,559	739,480	89	717,054	97	902,421	126	
	事業費	9,430	0	0	62,050	-	1,348,000	2,172	
	合計	837,989	739,480	88	779,104	105	2,250,421	289	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	837,989	739,480	88	779,104	105	2,250,421	289	
	合計	837,989	739,480	88	779,104	105	2,250,421	289	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立て件数							
指標説明(式)		年間成年後見制度市長申立て件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	2	200.0	3	150.0	
	実績	1	0	0.0	1	-			
指標名2		成年後見市長申立て1件当たりの助成額							
指標説明(式)		年額助成額/年間成年後見申立て件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	112000	451000	402.7	451000	100.0	34000	7.5	
	実績	9430	0	0.0	62050	-			

【効率性】

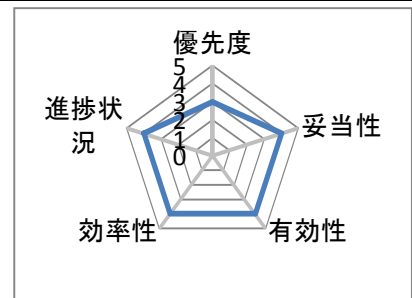
指標名1		成年後見市長申立て1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費／年間成年後見申立て件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	828559	1144320	138.1	682190	59.6	300807	44.1	
	実績	828559	739480	89.2	717054	97.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	達成できた。	4
	市民サービス	今後も施設入所者等の利用が増える可能性がある。	
効率性	手段の最適性	適切な手段により実施されている。	4
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	対象者の親族等の確認作業が極めて煩雑であるが、親族や関係者等の協力を得ながら、スムーズに請求できるよう体制を整える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	後見人の必要な状態にある者については、後見制度を利用できるよう周知を図るとともに、後見人に対する報酬の支払いが困難であるという理由で申立を断念することのないよう、報酬の全部(一部)を

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030100	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	福祉サービス第三者評価補助事業	予算事業名	福祉サービス第三者評価補助事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名 横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉サービス等事業者と障害福祉サービス利用者			
	誰(何)を対象として	障害福祉サービス等事業者に対する第三者評価			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害福祉サービス等提供事業者のサービス提供について第三者評価受診経費を補助し、受審促進と評価内容の把握と改善努力によって福祉サービスの質の改善と向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		第三者評価を受審し、福祉サービスの質の改善と向上を図るため、第三者評価受審経費を補助する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	福祉サービス第三者評価補助事業	件	1	1	0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.016	80	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	473,284	430,520	91	440,322	102	452,685	103	
	事業費	120,000	120,000	100	0	0	150,000	-	
	合計	593,284	550,520	93	440,322	80	602,685	137	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-		-		-	
	県支出金	0	0	-		-		-	
	市債	0	0	-		-		-	
	その他	0	0	-		-		-	
	一般財源	593,284	550,520	93	440,322	80	602,685	137	
	合計	593,284	550,520	93	440,322	80	602,685	137	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		第三者評価受審件数							
指標説明(式)		第三者評価受審件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷受審件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150000	150000	100.0	150000	100.0	150000	100.0	
	実績	120000	120000	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	受審事業者が伸びないので、補助事業の更なる周知を含めて事業者への促しが必要である。	4
	市民サービス	第三者評価の結果、サービス提供	
効率性	負担割合の適正化	補助率の見直しは将来的に必要である。	4
	手段の最適性	受審事業者への補助金交付で適正に実施出来ている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

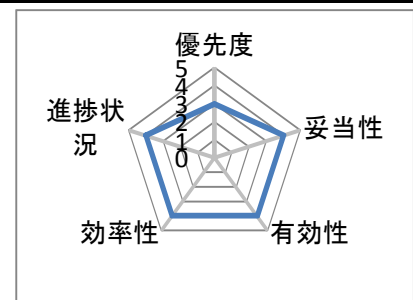
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受審事業所がなかったため、事業者の受審を促す必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業者に対し、第三者評価受審の効果への理解と関心を持ってもらう。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030200	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	障害者自立支援事業	予算事業名	障害者自立支援事業 優先度 5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	担当者名	
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		障害者基本計画及び障害福祉計画の策定		障害者福祉システムG-trust更新	
		障害者支援施設野の草園改修工事			
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者や家族の不安・軽減を解消することにより、日常生活の安定を図るとともに、障害者の社会参加・自立を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者等の申請に基づき、障害程度区分の認定等を行い、障害福祉サービスの支給決定を行う。この決定に基づき障害福祉サービスを利用した障害者等に対し、その費用の全部又は一部を介護給付費として支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	福祉サービス利用者数	人	3,190	3,337	3,622	3,869
	補装具費給付等利用者	人	52	69	58	69
	自立支援医療利用者	人	12	14	17	8

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	2.152	2.397	111	4.716	197	1.984	42	
	臨時職員	0.900	0.910	101	0.998	110	2.418	242	
支出内訳	人件費	19,417,724	21,008,094	108	39,005,340	186	22,367,979	57	
	事業費	448,577,649	496,817,379	111	514,660,696	104	560,568,000	109	
	合計	467,995,373	517,825,473	111	553,666,036	107	582,935,979	105	
財源内訳	国庫支出金	202,688,814	231,349,500	114	240,126,178	104	273,105,000	114	
	県支出金	118,735,906	123,874,146	104	126,841,820	102	137,292,000	108	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	146,570,653	162,601,827	111	186,698,038	115	172,538,979	92	
合計	467,995,373	517,825,473	111	553,666,036	107	582,935,979	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者数							
指標説明(式)		年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,875	3,584	124.7	3,571	99.6	3,946	110.5	
	実績	3,254	3,420	105.1	3,697	108.1			
指標名2		障害福祉サービス等利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	142,595	130,401	91.4	145,601	111.7	142,059	97.6	
	実績	143,822	145,268	101.0	139,210	95.8			

【効率性】

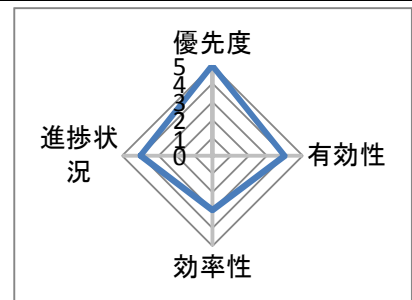
指標名1		障害福祉サービス等利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8,532	5,376	63.0	5,843	108.7	5,668	97.0	
	実績	5,967	6,142	102.9	10,550	171.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害福祉サービス利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	障害福祉サービス、自立支援医療(更生医療)及び補装具費給付の利用者数が増えたことによりコストが増加した。	3
	執行体制の効率性	障害福祉サービスの制度周知に伴い、利用者増により事務量が増加している。システムを活用し、さらなる事務の効率性を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者数は増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務内容が複雑化しているため、適切に対応するための執行体制の整備及び効率的な事務の執行が求められる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業の円滑で適正な実施のため、国県の情報を入力しながら、効率的な事務の執行を図る必要がある。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030300		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	重度障害者医療費助成事業		予算事業名	重度障害者医療費助成事業 優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	土居 城介
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	重度障害者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	重度障害者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					

2 事業の概要 Do

実施の概要		重度障害者の医療費の一部を助成する(18年度より重度精神障害者を含む)					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	助成費	円	54,302,836	61,020,359	56,044,008	63,650,000	
	助成件数	件	6,302	6,520	6,425	7,050	
	平均受給者数	人	323	333	332	360	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.233	0.252	108	0.266	106	0.264	99	
	臨時職員	0.031	0.026	84	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,227,676	2,315,862	104	2,425,538	105	2,510,075	103	
	事業費	54,302,836	61,020,359	112	56,044,008	92	63,650,000	114	
	合計	56,530,512	63,336,221	112	58,469,546	92	66,160,075	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	27,151,418	30,510,179	112	28,022,004	92	31,825,000	114	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	29,379,094	32,826,042	112	30,447,542	93	34,335,075	113	
合計	56,530,512	63,336,221	112	58,469,546	92	66,160,075	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	178,462	169,697	95.1	186,629	110.0	176,806	94.7	
	実績	168,120	183,244	109.0	168,807	92.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	726	366	50.4	356	97.3	356	100.0	
	実績	353	355	100.6	378	106.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の重度障害者に対し、適正な医療費助成を行った。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	1件当りのコストは年々上がっている。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速かつ適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

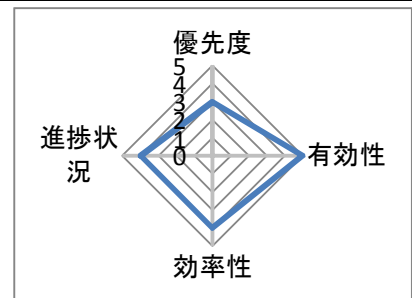
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療費通知などを行い、医療費の抑制を図る。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401030400		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	重度心身障害者特別給付金支給事業	予算事業名	重度心身障害者特別給付金支給事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	細川 優太
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍障害者等福祉給付金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍障害者等					
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍障害者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍障害者等に対し、福祉給付金を支給する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	無年金外国籍障害者等福祉給付金事務	人(延べ)	0	0	0	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.013	0.018	138	0.018	100	0.018	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	-	-	
支出内訳	人件費	418,019	445,968	107	455,696	102	468,747	103	
	事業費	0	0	-	0	-	917,000	-	
	合計	418,019	445,968	107	455,696	102	1,385,747	304	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-	429,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	418,019	445,968	107	455,696	102	956,747	210	
合計	418,019	445,968	107	455,696	102	1,385,747	304		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 $\frac{\text{受給対象者延べ人数}}{\text{給付者延べ人数}} \times 100$							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数／受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	0	1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	対象者なし	3
	成果目標(改善)達成度	対象者に100%給付 対象者なし	
効率性	コストの節減	対象者なし	3
	執行体制の効率性	対象者なし	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者なし	3

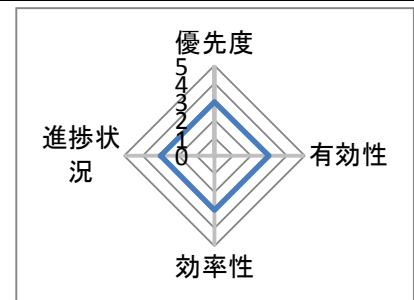
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	在日外国人の無年金問題は、本来年金制度の持つ加入資格要件上発生した問題であり、国の責任において実施すべき問題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	関係機関等を通じて、国に要望していく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030500		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	障害者団体等補助事業		予算事業名	障害者団体等補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典		担当者名 横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者・障害児とその家族					
	誰(何)を対象として	障害者各団体の活動費					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者の活動の場や行動範囲を広げ、社会参加及び自立した生活を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者及びその家族等で構成され、障害者福祉向上のために活動している障害者団体の経営基盤の安定と活動の発展に資することを目的に、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	相生市身体障害者協会事業	円	250,000	250,000	250,000	250,000	
	相生市手をつなぐ育成会事業	円	200,000	200,000	200,000	200,000	
	ハートフルフェア事業	円	900,000	900,000	900,000	900,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.008	29	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	536,444	368,728	69	378,826	103	388,437	103	
	事業費	1,350,000	1,350,000	100	1,350,000	100	1,350,000	100	
	合計	1,886,444	1,718,728	91	1,728,826	101	1,738,437	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,886,444	1,718,728	91	1,728,826	101	1,738,437	101	
合計	1,886,444	1,718,728	91	1,728,826	101	1,738,437	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助団体数							
指標説明(式)		年間補助金交付実績数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

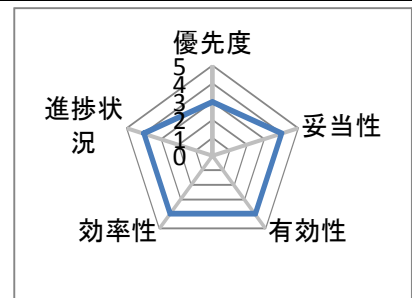
指標名1		障害者団体への補助金交付に係る1件あたりのコスト							
指標説明(式)		年間人件費／補助団体数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	178815	154340	86.3	111251	72.1	129479	116.4	
	実績	178815	122909	68.7	126275	102.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害者団体が活動を行うための適正な交付を行うことができた。	4
	市民サービス	補助金の交付により、障害者団体を構成する障害者及びその家族の社会福祉活動の向上が図られた。	
効率性	負担割合の適正化	それぞれの障害者団体の活動状況に応じた適正な補助が行われている。	4
	手段の最適性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	補助金を交付することにより、各種団体の活動の活性化及び安定化を促し、障害者の活動の場の確保や社会参加につなげていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的な執行体制・方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030600		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	特別障害者手当等支給事業		予算事業名	特別障害者手当等支給事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	鶴尾 あい子
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		特別児童扶養手当等の支給に関する法律第17～26条、第26条の2～5及び国民年金法の一部を改正する法律附則第97条第2項で準用する第18条・令第42号附則第2条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別障害者手当: 福祉手当より重度の障害を持つ20歳以上の者。障害児福祉手当: 重度の障害を持つ20歳未満の児童。経過福祉手当: 法改正前の福祉手当受給資格者のうち、特別障					
	誰(何)を対象として	福祉手当受給対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度の障害により、特に必要とされる経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		福祉手当対象者より重度の障害を持つ20歳以上の者に特別障害者手当を月額2万6,260円支給する。重度の障害を持つ20歳未満の児童に障害児福祉手当を月額1万4,280円支給する。国民年金法改正前の福祉手当受給資格者のうち、改正法の特別障害者手当に該当せず、				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	特別障害者手当	延人	200	210	218	240
	障害児福祉手当	延人	144	131	125	104
	経過福祉手当	延人	30	36	27	24

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.086	0.080	93	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	994,354	924,856	93	932,290	101	966,669	104	
	事業費	7,713,340	7,903,450	102	7,891,300	100	7,989,000	101	
	合計	8,707,694	8,828,306	101	8,823,590	100	8,955,669	101	
財源内訳	国庫支出金	6,116,040	5,927,587	97	-	0	5,991,000	-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,591,654	2,900,719	112	8,823,590	304	2,964,669	34	
合計	8,707,694	8,828,306	101	8,823,590	100	8,955,669	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別障害者手当等支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	396	396	100.0	384	97.0	380	99.0	
	実績	374	377	100.8	370	98.1			
指標名2		特別障害者手当等1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	20593	20518	99.6	21020	102.4	21024	100.0	
	実績	20624	20964	101.6	21328	101.7			

【効率性】

指標名1		特別障害者手当等支給に係る1件当たりコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	4493	2393	53.3	2353	98.3	2544	108.1	
	実績	2659	2453	92.3	2520	102.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令に基づき、事態を適正にすることができた。	
効率性	コストの節減	支給対象者の増減により影響を受けるが、ほぼ前年並みであった。	4
	執行体制の効率性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	認定事務及び支給事務は計画的に処理出来ている	4

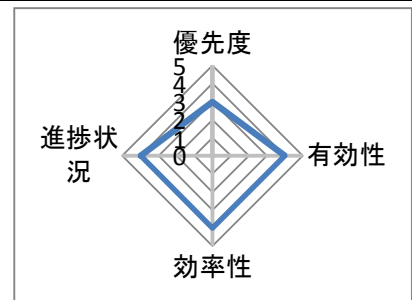
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	手当の支給条件が複雑であり、引続き制度の周知を行い、適正かつ有効な執行を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的に執行する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030700	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	重度心身障害者(児)介護手当支給事業	予算事業名	重度心身障害者(児)介護手当支給事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		担当者名	鶴尾 あい子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		兵庫県重度心身障害者(児)介護手当支給事業実施要綱、相生市重度心身障害者介護手当支給条例、相生市重度心身障害者介護手当支給条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳未満の介護保険を利用しない重度の身体障害者手帳及び療育手帳認定者で、居宅で6ヶ月以上常時臥床の状態若しくは同様の状態であり、常時介護を要する者を主として介護し			
	誰(何)を対象として	常時臥床若しくは同様の状態であり、常時介護を要する重度障害のために要する特別な経済的需用。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度心身障害者(児)の介護者又は障害者本人の経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体障害者手帳1・2級及び重度の療育手帳認定者であって、居宅において6ヶ月以上常時臥床若しくは同様の状態であり、常時介護を要する65歳未満の者を主として介護している者に、月額1万円の介護手当を支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	重度心身障害者(児)介護手当	延人	324	309	283	300

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.060	75	0.060	100	0.060	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	946,984	770,376	81	778,550	101	806,049	104	
	事業費	1,562,496	1,520,831	97	1,379,166	91	1,400,000	102	
	合計	2,509,480	2,291,207	91	2,157,716	94	2,206,049	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	212,499	233,333	110	200,000	86	200,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,296,981	2,057,874	90	1,957,716	95	2,006,049	102	
合計	2,509,480	2,291,207	91	2,157,716	94	2,206,049	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		重度心身障害者(児)介護手当支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	312	372	119.2	300	80.6	300	100.0	
	実績	324	309	95.4	283	91.6			
指標名2		重度心身障害者(児)介護手当1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	4647	4973	107.0	4833	97.2	4667	96.6	
	実績	4823	4922	102.1	4873	99.0			

【効率性】

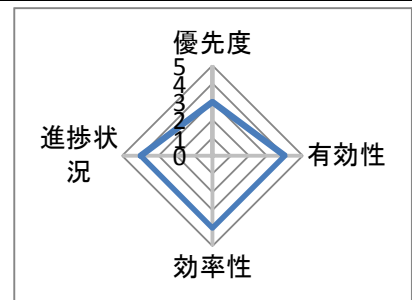
指標名1		重度心身障害者(児)介護手当1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	5442	2547	46.8	2485	97.6	2687	108.1	
	実績	2923	2493	85.3	2751	110.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	支給対象者が減少したことにより、コストが減となった。	4
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに事務執行できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	県事業分・市単独分の受給資格認定業務等が複雑であり適正に執行する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的に執行する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030800	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	重症心身障害者福祉年金支給事業	予算事業名	重症心身障害者福祉年金支給事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		担当者名	鶴尾 あい子
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		相生市重症心身障害者福祉年金条例、相生市重症心身障害者福祉年金条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者手帳及び療育手帳並びに精神障害者保健福祉手帳の重度の認定者で、相生市に引き続き1年以上住所を有する者。			
	誰(何)を対象として	重度の障害のために要する特別な経済的需用。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度の障害により特に必要とされる経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		重度の身体障害者手帳及び療育手帳並びに精神障害者保健福祉手帳の重度の認定者で、相生市に引き続き1年以上住所を有する者に福祉年金を支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	1級福祉年金	延人	5586	5628	5630	5680
	2級福祉年金	延人	2140	2101	2055	2105

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.142	0.144	101	0.144	100	0.144	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,436,474	1,419,192	99	1,424,258	100	1,480,653	104	
	事業費	16,972,800	16,867,200	99	16,839,200	100	17,040,000	101	
	合計	18,409,274	18,286,392	99	18,263,458	100	18,520,653	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,409,274	18,286,392	99	18,263,458	100	18,520,653	101	
合計	18,409,274	18,286,392	99	18,263,458	100	18,520,653	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		福祉年金支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	7680	7800	101.6	7860	100.8	7785	99.0	
	実績	7726	7729	100.0	7685	99.4			
指標名2		福祉年金1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2175	2178	100.1	2163	99.3	2189	101.2	
	実績	2197	2182	99.3	2191	100.4			

【効率性】

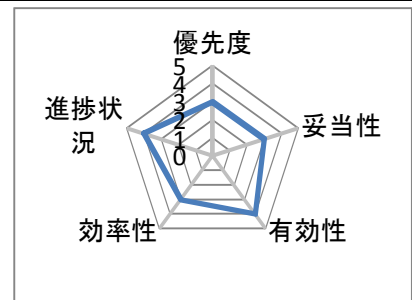
指標名1		福祉年金支給に係る1件あたりコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	246	170	69.1	178	104.7	190	106.7	
	実績	186	183	98.4	185	101.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	福祉年金の支給により、障害者の経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	対象者が増えたため、コスト増になった。	3
	手段の最適性	手帳交付時に受給資格対象者に申請をしてもらうことで適正に実施することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに事務が処理されている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	手帳交付時に受給資格対象者に申請をもらうことで適正に実施することができた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	対象者の受給資格を徹底し、最適な事務の執行を図る。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030900	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	身体障害者福祉基金事業	予算事業名	身体障害者福祉基金事業 優先度
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市身体障害者福祉金支給規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者			
	誰(何)を対象として	車いす等を利用する身体障害者が、リフト付車両等を新規に購入またはリフト装置等を車両に装着する経費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	リフト付車両等の新規購入またはリフト装置等を車両に装着する経費を助成することにより、身体障害者の経済的負担を軽減し、生活の質の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体障害者福祉基金の運用益をもって、身体障害者手帳1・2級を所持し下肢又は体幹機能障害により車いす等を使用している在宅の身体障害者又はその介護者に対し、リフト付車両等の新規購入等にかかる経費に対し100,000円を限度に助成する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	福祉金助成件数	件	1	0	0	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.018	0.016	89	0.008	50	0.008	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	457,494	430,520	94	378,826	88	388,437	103	
	事業費	100,000	34,590	35	32,728	95	201,000	614	
	合計	557,494	465,110	83	411,554	88	589,437	143	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	45,996	34,590	75	0	0		-	
	一般財源	511,498	430,520	84	411,554	96	589,437	143	
	合計	557,494	465,110	83	411,554	88	589,437	143	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		福祉金助成件数							
指標説明(式)		年間助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-	-	-	
指標名2		福祉金1人当り助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	50000	100500	201.0	200000	199.0	200000	100.0	
	実績	100000	0	0.0	0	-	-	-	

【効率性】

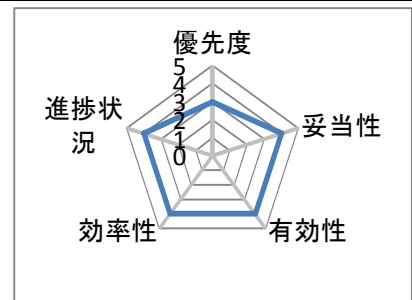
指標名1		福祉金助成1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	483378	239080	49.5	189413	79.2	194218	102.5	
	実績	457494	430520	94.1	378826	88.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し適切に実施することができた。	4
	市民サービス	助成金の支給により障害者の経済的負担を軽減し、生活の質の向上が図れた。	
効率性	執行体制の効率性	支給要件を緩和し、既所有車へのリフト装置の装着にも助成を拡大した。	4
	手段の最適性	最適な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	助成件数が少ないため、事業を市民に広く周知する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的な執行を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031000	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	心身障害児童就学奨励金支給事業	予算事業名	心身障害児童就学奨励金支給事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	有
実施計画事業名				担当者名	
根拠法規及び関連法規		相生市中心身障害児童就学奨励金支給規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身障害児童・保護者			
	誰(何)を対象として	心身障害児童の就学に要する経済的負担			
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害児童の就学に要する経済的負担を軽減し、就学環境の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学校に就学する心身に障害のある児童であって、市内に引き続き1年以上住所を有する児童及びこれら以外の児童で当該児童の保護者が市内に引き続き1年以上住所を有する児童の保護者に就学奨励金を支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	就学奨励金	件	26	29	30	23

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.016	80	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	473,284	430,520	91	440,322	102	452,685	103	
	事業費	308,000	348,000	113	357,000	103	312,000	87	
	合計	781,284	778,520	100	797,322	102	764,685	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	781,284	778,520	100	797,322	102	764,685	96	
合計	781,284	778,520	100	797,322	102	764,685	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨励金支給件数							
指標説明(式)		年間の奨励金支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	26	29	111.5	30	103.4	23	76.7	
	実績	26	29	111.5	30	103.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

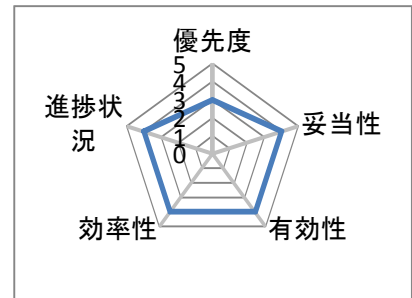
指標名1		奨励金支給に係る1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	32184	16488	51.2	13236	80.3	19681	148.7	
	実績	23122	14845	64.2	14677	98.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	奨励金支給対象者を的確に把握し、適正な支給を行うことができた。	4
	市民サービス	奨励金の支給による経済的負担の軽減により、心身障害児の就学環境の向上が図られた。	
効率性	コストの節減	昨年度に比べ在籍者数が増加し、支給額が増加した	4
	手段の最適性	効率的に実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに事務が執行できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	保護者の経済的負担を軽減することができる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的な執行体制・方法を検討

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	心身障害者扶養共済制度施行事業	予算事業名	心身障害者扶養共済制度施行事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	鶴尾 あい子
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県心身障害者扶養共済制度条例施行規則、相生市心身障害者扶養共済制度掛金助成規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者					
	誰(何)を対象として	共済制度掛金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	共済制度掛金の一部を助成し、制度への加入促進及び加入者の負担軽減を図ることにより、保護者が死亡・高度障害になった場合の障害者の経済的安定を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の保護者が、毎月納入する共済制度掛金の額を課税状態に応じて助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	助成件数	件	6	5	5	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.053	0.020	38	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	733,819	461,416	63	471,070	102	484,809	103	
	事業費	113,600	108,635	96	97,590	90	98,000	100	
	合計	847,419	570,051	67	568,660	100	582,809	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	847,419	570,051	67	568,660	100	582,809	102	
合計	847,419	570,051	67	568,660	100	582,809	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		心身障害者扶養共済制度掛金助成件数							
指標説明(式)		年間助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	6	6	100.0	4	66.7	4	100.0	
	実績	6	5	83.3	5	100.0			
指標名2		心身障害者扶養共済制度掛金助成1件当り助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	18500	25000	135.1	29000	116.0	24500	84.5	
	実績	18933	21727	114.8	19518	89.8			

【効率性】

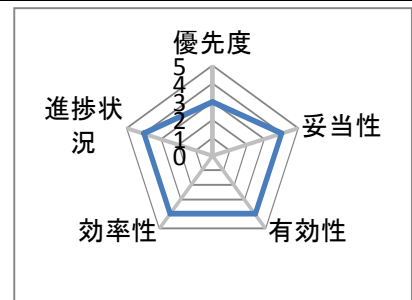
指標名1		心身障害者扶養共済制度掛金助成に係る1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	177374	115020	64.8	107196	93.2	121202	113.1	
	実績	122303	92283	75.5	94214	102.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	掛金の助成により、共済制度加入者の経済的負担の軽減が図られた。	
効率性	負担割合の適正化	世帯の所得階層に応じた助成を行うことで、障害者(児)の保護者の負担に対して適正な助成を行った。	4
	手段の最適性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	定期的な事務であり計画通りに執行できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業の目的及び内容について、引続き見直しに向けた検討を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	制度改正により掛金が大幅に高くなったことにより、更なる制度の周知及び効果的な執行体制の検証が必要である。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401031200		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	心身障害者(児)歯科診療事業	予算事業名	心身障害児(者)歯科診療事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名		健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害者(児)					
	誰(何)を対象として	社団法人相生・赤穂市郡歯科医師会附属歯科診療所					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者(児)が、その心身の障害にかかわらず、適切な歯科治療を受けることができ、安心して健康的な日常生活を送ることができるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害者(児)を対象に、歯科治療及び予防的な処置を行う歯科診療所に対し、相生市、赤穂市、上郡町が共同で運営に要する費用の一部を助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	受診延人数	人	51	48	55	50	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	410,124	399,624	97	409,574	102	420,561	103	
	事業費	3,090,000	2,886,000	93	2,857,000	99	2,837,000	99	
	合計	3,500,124	3,285,624	94	3,266,574	99	3,257,561	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,500,124	3,285,624	94	3,266,574	99	3,257,561	100	
合計	3,500,124	3,285,624	94	3,266,574	99	3,257,561	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		歯科診療所受診者数							
指標説明(式)		年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	121	50	41.3	50	100.0	50	100.0	
	実績	51	48	94.1	55	114.6			
指標名2		歯科診療所受診者1人当り助成額							
指標説明(式)		年間助成額/年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	25537	57720	226.0	57140	99.0		0.0	
	実績	60588	60125	99.2	51945	86.4			

【効率性】

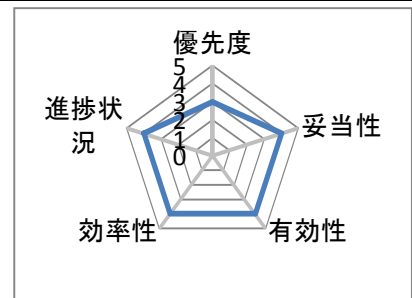
指標名1		歯科診療所受診者に係る1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	7587	8655	114.1	7308	84.4		0.0	
	実績	13380	8325	62.2	7447	89.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成できた。	4
	市民サービス	障害者(児)に適正な歯科診療を提供することができた。	
効率性	負担割合の適正化	赤穂市と上郡町で合同で運営し、人口及び利用実績に応じ負担をしており、補助割合は適正である。	4
	手段の最適性	障害者(児)のニーズに対応するための、適切な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規受診者の手続き及び補助金交付事務は計画的に処理できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	一般歯科診療所における障害者(児)の受診状況及び利用者のニーズの変化を把握し、助成制度のあり方を検証して行く必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	歯科診療所の機能、事業内容及び助成制度のあり方について検証を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031500	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	福祉タクシー助成事業	予算事業名	在宅重度心身障害者(児)等福祉事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名 北條 麻梨香
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市重度心身障害者(児)等社会参加促進交通費助成要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	重度の障害による外出や移動の困難さ、またそのために発生する経済的負担。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害による外出や移動の困難さ、それに伴う経済的負担を軽減し、障害者の自立及び社会参加の促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		事業を利用しようとする者からの申請に基づき利用の可否を決定し、決定を受けた申請者に対し1月当たり3枚を限度として福祉タクシー利用券を交付する。助成対象は、利用者が控除を受ける利用券1枚につきタクシーの基本料金の9割相当額とし、当該控除額を利用したタクシー事				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	事業利用者	人	111	99	105	115

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.030	0.028	93	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	552,234	523,208	95	532,566	102	549,057	103	
	事業費	969,150	983,500	101	972,160	99	1,058,000	109	
	合計	1,521,384	1,506,708	99	1,504,726	100	1,607,057	107	
財源内訳	国庫支出金		0	-	0	-	0	-	
	県支出金		0	-	0	-	0	-	
	市債		0	-	0	-	0	-	
	その他		0	-	0	-	0	-	
	一般財源	1,521,384	1,506,708	99	1,504,726	100	1,607,057	107	
合計	1,521,384	1,506,708	99	1,504,726	100	1,607,057	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業利用者数							
指標説明(式)		年間事業利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	134	123	91.8	107	87.0	115	107.5	
	実績	111	99	89.2	105	106.1			
指標名2		発行タクシー券の利用率							
指標説明(式)		利用枚数/発行枚数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	60	100.0	
	実績	52.6	58.4	111.0	55.6	95.2			

【効率性】

指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費／年間事業利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	4,975	4,626	93.0	4,599	99.4	5,653	122.9	
	実績	4,975	5,284	106.2	5,072	96.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	障害者の移動支援、病院への通院、社会参加などを促進することができた。	
効率性	コストの節減	申請者、利用枚数はほぼ横ばいで推移している。	4
	手段の最適性	適切な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申請・交付事務及び支払い事務は毎月計画的に執行できている。	4

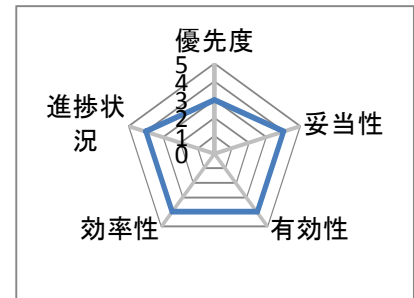
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	現在は一人当たり年間36枚(10日で1枚の換算)の支給となっている。コストの増大にはなるが、今の枚数が適正であるかを検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	他市町の情報等も入手しながら、適正な事務の執行が求められる。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031700	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	障害児通所給付支給事業	予算事業名	障害児通所給付支給事業 優先度 5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名 北條 麻梨香
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		児童福祉法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害児			
	誰(何)を対象として	障害児やその家族の日常生活上の暮らしにくさ、自立の困難さ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害児やその家族に対して支援を行うことにより、日常生活の基本的動作の訓練や、自立に必要な知識技能の習得を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害児の保護者等の申請に基づき、障害児通所支援の支給決定を行う。この決定に基づき障害児通所支援を利用した障害児の保護者等に対し、その費用の全部又は一部を障害児通所給付費として支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	障害児通所支援利用者数	人	0	245	365	417

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.212	-	0.212	100	0.184	87	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費		1,944,424	-	1,946,974	100	1,801,893	93	
	事業費		6,958,453	-	11,948,580	172	15,474,000	130	
	合計		8,902,877	-	13,895,554	156	17,275,893	124	
財源内訳	国庫支出金		3,277,988	-	6,518,421	199	7,715,000	118	
	県支出金		1,638,993	-	3,259,210	199	3,857,000	118	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		3,985,896	-	4,117,923	103	5,703,893	139	
	合計		8,902,877	-	13,895,554	156	17,275,893	124	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害児通所支援事業利用者数							
指標説明(式)		年間障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	258	-	417	161.6	
	実績	0	245	-	365	149.0			
指標名2		障害児通所支援事業利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	34,511	-	37,107	107.5	
	実績	0	28,401	-	32,735	115.3			

【効率性】

指標名1		障害児通所支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	7,555	-	4,321	57.2	
	実績	0	7,936	-	5,334	67.2			

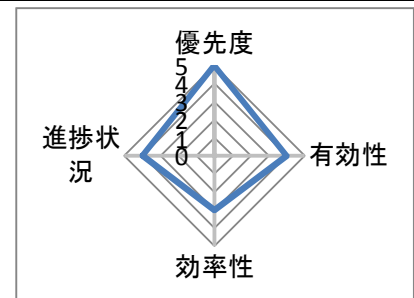
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害児通所支援利用希望者が適正なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	障害児支援の強化により、利用者が増えたため、コストも増加した。	3
	執行体制の効率性	制度周知に伴い、利用者増により事務量が増加している。システムを活用し、さらなる事務の効率性を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者は増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務内容が複雑化しているため、適切に対応するための執行体制の整備及び効率的な事務の執行が求められる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業の円滑で適正な実施のため、国県の情報を正確に入手しながら、効率的な事務の執行を図る必要がある。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031800	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業	予算事業名	在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名 山本 由香里
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市在宅重症心身障害児(者)訪問看護利用支援事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者福祉法第15条に規定する身体障害者のうち、身体障害者福祉法施行規則別表第5条の肢体不自由1級に該当し、かつ、判定機関において知的障害の程度が重度と判定され			
	誰(何)を対象として	医療保険各法の規定による訪問看護療養費の利用料の一部。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	居宅において継続して療養を受ける必要がある者に訪問看護療養費の一部を助成することにより、重度障害者の福祉の増進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所を有する身体障害者福祉法第15条に規定する肢体不自由1級に該当し、かつ、知的障害の程度が重度と判定された者又はその家族に対し、訪問看護療養費の100分の10に相当する額を一部負担金として控除した額を助成する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	重症心身障害児(者)訪問看護療養費利用料助成費	人数			0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.020	-	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	471,070	-	484,809	103	
	事業費			-	0	-	256,000	-	
	合計			-	471,070	-	740,809	157	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	471,070	-	740,809	157	
合計			-	471,070	-	740,809	157		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訪問看護療養費助成利用人数							
指標説明(式)		年間助成人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-	1	-	1	100.0	
	実績			-	0	-			
指標名2		訪問看護療養費一人当たり助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標			-	256000	-	256000	100.0	
	実績			-	0	-			

【効率性】

指標名1		訪問看護療養費助成1人当りコスト							
指標説明(式)		年間事業費／年間助成人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円／人数	目標			-	256000	-	256000	100.0	
	実績			-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象となる障害児(者)へ通知をすることにより、問合せがあったが申請には至らなかった。	4
	市民サービス	助成金の支給により、障害児(者)の経済的負担を軽減できる。	
効率性	手段の最適性	対象となる障害児(者)へ通知と「障害者福祉制度のてびき」で助成制度について周知した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象となる障害児(者)へ通知をし、問合せがあったが申請には至らなかった。	3

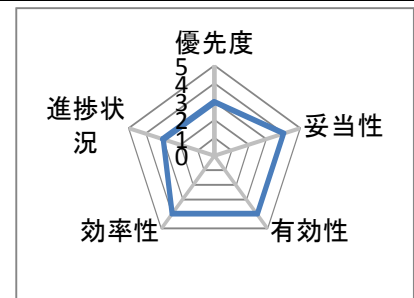
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者と保護者の経済的負担の軽減

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	「障害者福祉の制度のてびき」で制度について利用できるよう周知を図る。



配点	32.5
総合評価	23